

# ■ドスケベダンジョン ver1.5 v s エスパー姉妹フブタツ【体験】

※当ダンジョンは随時アイデア募集中！ 「ここ好き」なども仰っていただけるとありがたいです※

□

そこは、地下へ続く淫獄——

未だ踏破した者は居ない不落の迷宮。

侵入者は滅多に戻って来られず、僅かな帰還者はと云えば悍ましい陵辱でも受けたかのように変わり果てる。

待ち受けるのは栄光か、それとも極楽すら垣間見える屈辱か。

忌むべき災厄が潜むその地下迷宮を、世はこう呼ぶ……

——ドスケベダンジョン——

## ◆設定

あるダンジョンから魔物が出て女性たちを襲っている！

逸早くダンジョンを攻略して魔物を根絶せよ！

## ◆ルール

ステータスや各階ごとのイベントをダイスで決める特殊ダンジョン。

地上1F（地下0F）から開始して地下に向けて1～3F進み、

1D10で部屋選択→部屋に従い判定。

ダメージに抵抗値・弱点などの補正をかけた数だけ絶頂、同数ライフ減少。

ライフが残っていれば地下に1～3F進み、再び部屋選択。

これを繰り返し、地下20F到達でクリア、ライフが尽きればゲームオーバー。

## ◆ダイス表記説明

(1D10 : x) = (10面ダイス1回使用 : ダイス値)

※ここに、ダイス目の不正はないことを誓ふ。例へ望まぬ展開になろうとも、ダイス目に従うことを誓ふ※

## ◆ステータス

ライフ、弱点、感度、羞恥、性欲、装備、状態異常、残機。

ライフ：初期値1000。尽きるとゲームオーバー。

抵抗力：初期値100。抵抗時に減少し、絶頂数を減らす（我慢する）。

0以下になった際は抵抗失敗となり、我慢した分だけ一気に絶頂する。

弱点：初期に任意orダイスで選択（1胸2尻3クリ4膣内5アナル6子宮）。

弱点は感度補正2となり、責められた際の絶頂数が2倍になる。感度補正は調教などで増加する場合あり。

感度、羞恥、性欲……初期に感度は1D10、羞恥と性欲はそれぞれ1D100で決定

感度：数値分だけ絶頂数が増える。

羞恥：高いほど羞恥心が高くなり、抵抗度が下がる。

・1～49：補正小（少し恥ずい程度） ・50～99：補正中（羞恥が快感に）

・100～：補正大（視姦だけでイける）

性欲：高いほど性欲が高くなり、より淫らになる。

・1～49：補正小（稀にアへる程度） ・50～99：補正中（淫語使う程の淫乱に）

・100～：補正大（ド淫乱）

装備：初期は任意装備。初期装備はステータスに影響されない。

状態異常：基本的に発動したら解除される。淫紋は例外的に永続。以下一例

『淫紋X』……X値だけ絶頂値が倍化される。計算は感度プラス後に行う。※永続。

『羞恥極大化』次ターン終了時まで、羞恥心のあまり全く抵抗できない！

『強制排卵』……次の中出し時に絶対受精する。あまり意味は無いので実質アタリ異常。

『おあずけ』……付与ターン絶頂不可、次の絶頂時に絶頂数倍化。

『淫語強化』……次ターン終了まで、淫語度が酷くなる。

『淫乱舞踊』……次ターン終了まで、身体が勝手に淫らに動く。

『賢者タイム』……次ターン終了まで絶頂数が10分の1になる。

『性欲解放』……次ターン終了まで性欲+99

◆

## □事前

(ここね……その……なんとかダンジョンというのは)

迷宮の前に、一人の女性が立っていた。

彼女はヒーロー協会に所属するB級1位ヒーロー、「地獄のフブキ」。

超能力の破壊力から地獄という語が冠された彼女だが、言葉の物騒さに比べて容姿は端麗。

身体にフィットするドレスを着ていることもあり、

大きく突き出るようなサイズの胸、引き締まった腹部と腰が目立ってまるでモデルさながらの美貌だ。

そんな彼女もヒーローであり、被害者を出し続ける迷宮に挑もうとしていた。

ただ、その動機には「迷宮の攻略者が一人もいない」という点が大きかったが。

(まだ誰もこのダンジョンを攻略できていない。私が踏破すれば、最初の攻略者に……トップになれる……！)

彼女は「1位」「トップ」に執着する性格。

今まで迷宮は、様々な挑戦者が挑んでは散っていった。最初にクリアすれば、挑戦者の中でのトップになれる。

また、B級と言えど彼女の実力はA級上位相当で、まぎれもない実力者。

攻略できる自信もあり、今回挑戦することになったのだ。

(ええ……と、まずダンジョンが勝手にステータスを決める……？ ちょっと、こんな情報聞いてないわよ？)

迷宮の情報は入手困難で、入って初めてルールに気付くフブキ。

まるで生きているように迷宮はランダム性が高く、能力すら勝手に決められる。

だがフブキには超能力がある。せめて迷宮からの干渉が最小限になるよう、念動力を周囲に発動して進む。

## □ステータス判定

◆弱点決定 (1D6 : 2)

1→胸・乳首 2→陰唇・クリ 3→膣

4→アナル 5→肌・尻 6→子宮

◆感度決定 (1D10 : 9)

◆羞恥決定 (1D100 : 67) ……補正中 (羞恥が快感に)

◆性欲決定 (1D100 : 7) ……補正小 (稀にアへる程度)

(……今のところ、大した変化は感じないわね)

ステータス判定が行われたが、特に違和感はない。

能力での防御が効いたか、運が良かったのか……

強いて言えば、視線に少々敏感になったくらいか。

降りる階段の向こう側に、そして迷宮の至る場所からも生物の気配、

それも自分を性的な目で見るような視線を感じてしまう。

(ま……まあ、私ともなれば、化物共も注目して当然よね)

ルックスや能力もあり、フブキは幼い頃から奇異・好奇の目に晒されてきた。

気分の良いものではないが、この程度はむしろ自分のスペックからすれば当然のこと。

そう強がって、フブキは最初の階段を下りていく……

現在、地下0F (スタート地点)

◆残ライフ : 1000 ◆抵抗力 : 100 ◆合計絶頂数 : 0

◆弱点 : 陰唇・クリ ◆感度 : 9 (初期値 : 9)

◆羞恥 : 67 (補正中 : 羞恥が快感に) ◆性欲 : 7 (補正小 : 稀にアへる程度)

◆装備 : 初期 ◆状態異常 : ナシ

(さあ、とっととクリアして、こんな薄気味悪いところからおさらばしましょう)

◆地下1Fの部屋は…… (1D10:1)

1→肉便器 2→催眠 3→淫具装着&調教  
4→痴漢姦 5→遊戯 6→コスチェン&強制売春奉仕  
7→ダンス 8→慰安 9→エロ装備化&闘技場 10→BF

◆地下1Fは肉便器輪姦部屋だった!

「肉便……は？」

・待ち構えているのは…… (1D10:2)

1→触手 2→スライム 3→オーク 4→淫魔  
5→機械 6→獣系 7→ショタ 8→チャラ男、不良  
9→中年、老人 10→ふた

——『肉便器』。聞き慣れない言葉だが、何をされるのかは容易に想像がつく。  
怖気が奔る中、フブキは百ものスライムたちに襲われる!

「いかにもザコって感じね……! どっちが上か、教えてあげるわ!」

・抵抗 (1D100:76)

抵抗値の数だけ竿数減少!

「地獄嵐!」

一斉に群がる異形に対し、フブキは念動力で対抗。  
砂利、空気を操作して猛烈な嵐が生成され、異形たちを呑み込んでいく。  
嵐は一瞬にして肉を裂き、骨を砕き、達人でも心が折れる荒業。  
スライムには肉も骨もないが……それなりの強度を持つであろう粘体が、  
あっさりと飛び散り、動かなくなっていく。  
早々に半数ほどが減り、フブキは異形の群れとの実力差を感じて優越感に笑みを浮かべた。

「何よ、数だけで大したことないわね!」

更に念力で範囲攻撃を続け、次々とスライムが砕け散っていく。

(やっぱりザコばかりね……まあ、まだ地下1Fだもの。こんなヤツら、私の敵じゃ……)  
ぬちゅうっ!

「っ?! 足元? いつの間に……!」

力量差に余裕を抱くフブキ。だが派手な大技を繰り出したために、余波の影から忍び寄る敵に気付かず、  
一体に左足から絡み付かれてしまう。  
意識が緩んだ隙に残ったスライムも襲い掛かり、フブキの身体に纏わりつく、拘束具で姿勢を固められた。

「くそ、ザコのくせに……いやっ! ああああっ!」

フブキは奮戦の末、76体のスライムを倒すものの、ついに捕まってしまった!  
特定の体位で身体が固定される!

・体位 (1D6:1)

1→プレス系 2→壁尻 3→片脚上げ (Y字バランス、立ち鼎系)  
4→四つん這い 5→蟹股 6→台乗せ仰向け (ブリッジ気味)

(そんな……ウソでしょ?! 私が、こんなザコ相手に、こんな格好を晒すなんて……!)

フブキは屈曲位……所謂「まんぐり返し」の状態で身体を固定された。

1Fの、スライムといういかにもザコらしい敵に捕まったこと、

自ら性器を突き出すような情けない姿勢となったことは、

プライドの高いフブキには耐え難い辱めだ。

しかも……スライムの目的は、ただ恥ずかしい姿勢で固定することではない。

彼女を“肉便器”とすべく、24体のスライムが囲み、最初の一体が覆い被さった。

#### ・責め、部位 (1D6 : 1)

1→胸・尻 2→乳首・クリ 3→ぶっかけ・三穴

4→寸止め・肌 5→両穴 6→子宮

#### ・オプション (1D10 : 7)

1→ハメ撮り 2→精液ボテ 3→配信 (閲覧者…1D100 : 万)

4→竿役台詞 5→MM号化 6→AV化 (売上…1D100 : 万)

7→即墮ち催眠 8→リョナ責 9→覗き視点 (1D10 : 奇数→男 偶数→女性) 10→時間停止

「っ！ 肉便器ってことは……！ ちょっと……有り得ないわよね？ 人間とスライムよ？！

ねえ、お話ししましょう？ 今なら見逃してあげるわ！ だからバカなことはやめなさい！

私には大勢の仲間がいるのよ！ フブキ組って聞いたことない？

痛い目に遭いたくなかったら、大人しくこの縄を解

じゅるうっ♥

「きひいいいっ！」

(な、なんなのこれっ?! 一瞬で気持ち良く……しかもこれは……こいつらも、超能力を……?!)

スライムが胸に纏わりついた途端、凄まじく甘ったるい熱感が生じた。

胸は衣服越しなのに先端が尖り、直接触れられた尻肉は一気に火照る。

噂でだけ聞いた、迷宮の理不尽なまでの快樂攻撃。

媚薬の原液を塗り込まれたような感覚にフブキは驚愕する。

更に、スライムも超能力のようなものを使ってフブキの精神に干渉——“催眠”をかけてきた。

触れられた途端に身体の奥もが一気に発熱し、

下手をすれば一瞬で気をやっけてしまいそうだ。

(い……イヤよ！ こんなヤツら相手に！ こんなことされて……即墮ちだなんてえっ！)

ぬる♥ じゅるうう……っ♥

「は……っ！ くふうう……っ！」

(私は……負けない……っ！)

ずぷうんっ♥♥

「んあっ！ ああああああっ！」

催眠から伝わる下品な言葉を否定した直後、粘体が男性器のように形を変え……

ついに体内への侵入を許してしまう。

硬さと柔らかさを併せ持つスライムペニス。更に妙な暖かさも加えて抉られ、その快感に声が抑えられない。

「ふっ！ ん、あっ！ おおお……っ！」

ぬぢゅ♥ ぬぶんっ♥ ぬっぼ♥ ぬぶっ♥

「あ！ う、ごか、ないでっ！ おっ！ あ！ っはああっ！」

(なんて、快樂……！ でも……！ こんなのに、私は……っ！！)

今まで感じたどんなものよりも深く濃厚な肉悦。

だがフブキは強い意志力でもって、肉蹂躪からの快感を堪え、発情催眠を跳ね除け続ける。

「誰が……墮ちたり、なんかっ！ こんなもので！ 私をどうこうできるなんて、思わな

ぬぶっ♥ ぬぶっ♥ ぬぶっ♥ ぬぶんっ♥

「はっ激しっ！ まさか、出すつもりなのっ?! やめなさい！ 後悔するわよほおっ！

今すぐ！ 止まっ……あああつ♥」

(ダメ！ 絶対！ 即落ち……だけはあああつ！)

ドブツ♥♥ ビュルルルルルルツ♥♥

「んっ♥♥ あ♥♥ ああああああ……っ♥♥」

(なんて……熱い、の……♥♥ 中に出されて……こんなに、気持ち良いなんて……♥♥

でも……♥♥ 何とか………耐え、た……っ♥♥)

1体目のスライムに膣内射精され、酷く嫌悪すべきはずなのに、それまでをも上回る肉悦を味わわされる。有り得ないのに、気を抜けば確実に絶頂させられる種漬け快感。それをフブキは驚異的な精神力で耐え……続くスライム輪姦にも、声を上げ、快楽を感じこそすれ、プライドだけは守り切った。

・ダメージ値 (1D100 : 44)

ダメ値44+感度9 = 53 ー抵抗値76 = 0絶頂

ライフ1000-0=1000

「こんなに、出すなんて♥ まさか全員やるつもりなの♥ あと……何体、いるのよお♥」

ずばあんっ♥

「んひいいいっ♥♥」

ぬぶん♥ ぬばんっ♥ ぱんっ♥ ぱあんっ♥

「くふっ♥ うっ♥ こんな♥ この私にっ♥ 通じるわけえっ♥」

ドブウウツツ♥♥

「んあっ♥♥ あ……~~~~~っ♥♥」

ずぼおっ♥ ぱんっぱんっぱんっぱんっ♥

「ま、またっ♥ そんなすぐには、あ♥ いやっ♥ やめ♥ イカないっ♥ 私はっ♥ そんな責めにっ♥」

じゅぶるるるっ♥

「んあああっ♥♥ 胸♥♥ 吸わないでえっ♥♥ あっダメ♥♥ 今は♥♥ 今は出さないでっ♥♥

あああっイカないっ♥♥ 私はっ♥♥ スライム如きがいいっ♥♥」

ドビュビュビュツ♥♥ ビュルウウウウツ♥♥

「イガないいいいいいいいいいいいいいいいっ♥♥」

24体ものスライムに種付けプレス肉便器にされ、53回はイける快楽を叩きつけられたが、フブキは1度もイカなかった！  
完全防御成功！ 状態異常『おあずけ』付与！

「はあっ……はあ……っ♥♥ た……耐えた、わよ……♥ よくも、ヤッてくれたわね……格下の分際でっ！  
え、何コレ……きゃうんんっ♥♥」

身体に力が戻り、反撃に成功。強姦絶頂という最悪の事態は避け、スライムも全滅できたが、今の陵辱でスライムの淫気が沁み込んだか、フブキの身体に異変が生じた。

・『淫紋』追加 (1D6 : 6) 0+6=6

・ステータス変動 (1D6 : 2)

1・2→ 感度 (1D100 : )

3・4→ 羞恥 (1D100 : )

5・6→ 性欲 (1D100 : 25) 7+25=32

「何よ、この模様……消えなさいよっ！」

ずくんっ♥

「んんんっ♥♥」

厭らしい紋様“淫紋”が下腹部に宿り、なぜか服の上からも見える。  
恐らくは性的感度を上げる呪いだらう。しかも紋様の影響か、性欲まで昂ぶってきたような気さえしてくる。

(と、解けない……何なのよこれ♥

……まあいいわ。何があっても、今みたいにイカされたりしなければ……

この迷宮はクリアできるはず……っっ♥♥

私は……負けない……♥♥ 必ずトップになるのよ……っっ♥♥)

淫紋は決して小さくなく、今の肉便器陵辱にも耐えた分、身体が強く発情して絶頂を求めている。

性欲も強くなった気はするが……理性がなくなったわけではない。

これからも今回のように耐えられればクリアは可能。

フブキは腰砕けになりそうなのを堪え、肉便器部屋を後にした……

現在、地下1F

◆残ライフ：1000 ◆抵抗力：24 ◆合計絶頂数：0（我慢：53）

◆弱点：陰唇・クリ ◆感度：9（初期値：9）

◆羞恥：67（補正中：羞恥が快感に） ◆性欲：32（補正小：稀にアへる程度）

◆装備：初期 ◆状態異常：『淫紋6』『おあずけ』あと1（次の絶頂時に絶頂数倍化）

フブキは更に地下に進む……

◆進行判定（前の部屋での絶頂数で判定）

100以下→3F進む。 199以下→2F進む。 200以上→1F進む。

「あら、2Fも3Fも大したことないわね……もしかして強いのは1Fだけかしら？

これならやっぱり楽勝ね……次行くわよ！」

◆地下4Fの部屋は……（1D10：1）

1→肉便器 2→催眠 3→淫具装着&調教

4→痴漢姦 5→遊戯 6→コスチェン&強制売春奉仕

7→ダンス 8→慰安 9→エロ装備化&闘技場 10→BF

◆地下4Fは肉便器輪姦部屋だった！

「なっ……またこの部屋なの?!」

・待ち構えているのは……（1D10：4）

1→触手 2→スライム 3→オーク 4→淫魔

5→機械 6→獣系 7→ショタ 8→チャラ男、不良

9→中年、老人 10→ふた

2F、3Fと快勝して進んだ先の4Fは、1Fと同じ肉便器部屋であった。

1Fでは絶頂こそしなかったものの、味わった快感は相当のもの。

またあれを喰らうのか……一瞬そんな考えがよぎり、下腹部の淫紋が妖しく光る中、

百もの淫魔が襲いかかる！

【お、今回はまた美人が来たな……しかも淫紋持ちか】

【あれ、もしかしてまだイッてない？ やるなあ、そんなの初めてじゃないか？】

【でもどうせ我慢の限界でしょ。肉便器にしたげるよフブキさんっ！】

「ふざけないでくれる？ あんたたちの好きにさせるなんて……！」

【っ?!】

・抵抗（1D100：95）

抵抗値の数だけ竿数減少！

「死んでもお断りよッ！」

【うおおおっ?!】

軽薄な口を叩いて近寄る人型淫魔たちを、全力の念動力で叩き潰す。  
淫紋による発情、快楽を堪えた反動の疼きは尋常ではない。  
もし犯されれば今度こそ快楽に流されてしまう。

(身体がおかしい……確実に仕留めるッ！)

絶対に触れさせまいと、念動力の嵐が吹き荒れる。  
スライムの時以上の規模を誇る力場は敵を寄せ付けず、まさに一網打尽に戦力を削ぎ落とした。

「はぁ……はぁ……！ や……やったわ……！」

大きい疲弊を代償にした大技が決まり、勝ち誇るフブキ。  
実際、淫魔をほぼ全滅まで追い込んだが……念力は最後列にいた個体までは届いていなかった。

「……！」

【うわ、まだこんな力が残ってたの？】

【正直今のはヤバかったよ！】

【やっぱフブキさん強いんだね！】

最後列の10体が驚愕と賞賛を口にしながら、大技の後隙を狙う。  
フブキは身体能力だけなら常人の上位程度。直接攻撃されれば、ほぼ勝負が決まってしまう。  
それを敵も理解しており、フブキの手首を捕え――

【よし、掴ん……】

「させない！」

しかしその瞬間、直接念力を通して淫魔を吹き飛ばした。  
更に左右から近寄る2体を、念力の打撃で叩き潰す。

「はぁ……あと……何体……？」

【そろそろ諦めなっ……！】

「ッ！」

がしいっ♡

「んはぁっ♡♡ ど、どこを触って……消えなさいっ！」

もう大技は使えない。接近戦用の技で一体ずつ倒すが、やはり敵が多すぎた。  
ついに性感帯が狙われ、大きな胸が揉みしだかれる。  
スライムによる責めで火照った爆乳が一揉みされると、途端に甘い電流が身体全体に突き抜けた。  
堪えた快楽の堰が外れそうになるのを驚異的な精神力で跳ね除け、小さな念力の旋風で弾き飛ばす。  
これで敵はあと6体。フブキの下半身は既に濡れそぼっており、肉欲に震えて内股になっている。  
そんな状態でも気力だけは失っていないが――念力で攻撃するより早く、また敵の手が先に届いた。  
胸への責めを引き剥がした際、反動で逆方向に胸が大きく弾んだ。  
大きさが災いして念力発動より数瞬先に触れられ、また深い快感が胸いっぱいになり、腹の底に響いてくる。

【いただき！】

「遅――」

ぶるんっ♡ ぎゅむううっ♡

「いひいっ？！♡♡ こ……のおおっ♡」

知覚反応だけはギリギリ間に合っていたがゆえに意表を突かれ、  
声まで甘く蕩けながら、それでも左胸に触れる敵を撃つ。  
あと5体。いける。今回は敵に犯させることすらさせない――  
その願いを、右胸に奔る快感が裏切った。

(ここさえ乗り切れば——)

がっしいっ♥

「んおっ?!♥♥ お♥♥ おおおおおっ♥♥」

淫らなほどに実った爆乳は不運にも二つ。片乳は凌げても逆の片乳までは凌ぎ切れず……  
力任せに歪まされる乳悦で腰砕けになった身体が、ついに捕らわれてしまう。

【ここまでがんばるとは思ってなかったよ!】

【でももう終わりかな? さ~肉便器タイムだよ!】

ぎゅむ♥ もみ♥ がしいっ♥

「あああっ♥♥ い、いやっ……離なさい! も、もうこの体勢はいやあっ!」

フブキは奮戦の末、96体目の淫魔に捕まってしまった!

特定の体位で身体が固定される!

・体位 (1D6:1)

1→プレス系 2→壁尻 3→片脚上げ (Y字バランス、立ち鼎系)

4→四つん這い 5→蟹股 6→台乗せ仰向け (ブリッジ気味)

・責め、部位 (1D61:)

1→胸・尻 2→乳首・クリ 3→ぶっかけ・三穴

4→寸止め・肌 5→両穴 6→子宮

・オプション (1D10:3)

1→ハメ撮り 2→精液ボテ 3→配信 (閲覧者…1D100:59万)

4→竿役台詞 5→MM号化 6→AV化 (売上…1D100:万)

7→即墮ち催眠 8→リョナ責 9→覗き視点 (1D10: 奇数→男 偶数→女性)

10→時間停止

【じゃ、ドスケベチャンネル“淫魔5体で超能力美女をマワしてみた”本番は一じめーるよー♪】

奇しくも肉便器体位は前回と同じ屈曲位。

恥ずかしい姿を見せて悲鳴を上げるが、淫魔はその上でカメラを回していた。

ただ罨られるだけでなく、ダンジョンの外……

淫界か、もしや人間界にまでも晒し、見世物として愉しもうというのだ。

「は、配信ですって?! ふざけないでっ!」

もみっ♥

「あっ♥♥」

【閲覧者数見ろよ、同時接続もう59万だよ】

どくんっ♥

「ご……59万も……?! いや……そんな大勢に……♥♥ いやあっ♥♥ 見ないでええっ♥♥」

批難は胸責めで掻き消され、閲覧者数を知ってまた一段と興奮が昂ぶる。

この部屋に入った時から、既に配信は始まっていたのだ。

フブキの人気と美貌が仇となり、閲覧者は60万近くにまで上っている。

中には純粋に応援している者もいるだろうが……今のフブキにとっては全員が共犯者、視姦陵辱者でしかない。

今まで感じたことのない膨大な視線に晒されていると知り、得体のしれない被虐感覚が沸き上がってくる。

【あれ、見られてるの感じてマンコひくついた?】

【じゃー散々に抵抗してくれてリスナー待たせちゃってるし……早速ハメるよ! せーのののの!】

ぬちゅ♥ ずる……っ♥

「やっやめなさいっ♥ み♥ 見られてるのに♥ ダメよ♥ そんなのおお♥」

ずばあんっ♥♥

「あああああ——っ♥♥」

大勢に見られる中、まさか感じる姿を晒すなど有り得ない。

耐えようとするが、今のフブキは言わばオアズケを喰らっている状態。

どれだけ精神力を強く保とうが、淫紋6段階に焦らしまで加われば、否応にも牝としての本性が炙り出される。

【おっいい声出た！ でもまだイッてないね！？】

【ほらっ59万リスナーが待ってるんだよ！】

ずぶ♥ ずぼっ♥ ずっぶ♥ ぽあんっ♥

「ふっ♥♥ ふう——っ♥♥ ふひいい————っ♥♥」

『すげえ顔w』『ガチで耐えてるってことは本当に気持ち良いんだ』

『負けないでフブキ様！』『はよ』『全世界公開アクメ見せて！』

【晒し者にされてコーフンしてるんでしょ？ 期待に応じてイッちゃえよっ！】

「んんんんっ♥♥ んっあ♥♥ ああぐううっ♥♥」

(大丈夫よ♥ さっきだって♥ 耐え切って……♥♥)

【おっと爆乳責めもしないと。揉まれるの見られて感じるもんねフブキさんは♪】

ぎゅむんっ♥♥

「んっ♥♥ あ♥♥ 感じ……ないいいいい♥♥ わ……私は……耐えて、みせ……」

【……あのさあ。こんだけマンコぐちょとろになってるのに】

ぬぼっ♥ ぎゅむっ♥ ずぶ♥ ぬっぼおっ♥

「んおっ♥♥ おっ♥♥ おおっ♥♥ っほ♥♥」

【チンポにプレスされたら……】

ずぼっずぼっずぼっずぼっずぼっずぼっ♥ ずっぼおっ♥

「ふう——♥♥ くふうう————っ♥♥ ま♥♥ 負けなひ……」

【耐えられるわけないだろっ！】

ずっばああんっ♥♥

「んっっっ♥♥♥」

(も……ダメ♥♥ 限界いいっ♥♥)

びくっ♥♥ ぶるっ♥♥ がくんっ♥♥ プシュ♥♥ プツシヤアアアアッ♥♥

「あ♥♥♥ あ♥♥♥ ああっ♥♥♥ ダメ♥♥♥ 見ないでええええ————っ♥♥♥」

・抵抗力24－抵抗値95＝－71

抵抗力喪失！ 抵抗失敗！

我慢していた53回分一気に絶頂！

ライフ1000－53＝947

抵抗値がマイナスに到達！ 抵抗した分だけ快感増加！

(抑えてた分が一気に♥♥♥ カメラの前なのに……と、止まらないいいいいっ♥♥♥)

プシュウッ♥♥ びくんっ♥♥ がくがくがくがくうっ♥♥

「ダメ♥♥♥ ダメえ♥♥♥ ダメダメダメダメ♥♥♥

いやっ♥♥♥ あっ♥♥♥ ああああおおおおおおおっ♥♥♥」

フブキは力尽きてしまった……

○リザルト

現在、地下4F

◆残ライフ：－997 ◆抵抗力：－71 ◆合計絶頂数：1997

◆弱点：陰唇・クリ ◆感度：9（初期値：9）

◆羞恥：67（補正中：羞恥が快感に） ◆性欲：75（補正中：淫語使う程の淫乱に）

◆装備：初期 ◆状態異常：『淫紋12』 ◆戦績：4F『抵抗プレス肉便器』

挑戦者は一度だけ、ライフと抵抗力を回復してリトライできる！

フブキはリトライした！

「そんな……この私が4Fでやられるなんて……あんな、あんなの……有り得ないわ……！

そう……何かの間違いよ！」

目標とのあまりのギャップに現実逃避して、回復したフブキはまた先へと進む。  
あんまりな姿に、ダンジョンは地下9Fまではダメージ値を減らしてあげることにした……

※9Fマデ ダメージ値ヲ (1D100:) カラ (1D10:) ニ変更シマス※

◆進行判定 (前の部屋での絶頂数で判定)

100以下→3F進む。 199以下→2F進む。 200以上→1F進む。

◆地下5Fの部屋は…… (1D10:8)

1→肉便器 2→催眠 3→淫具装着&調教  
4→痴漢姦 5→遊戯 6→コスチェン&強制売春奉仕  
7→ダンス 8→慰安 9→エロ装備化&闘技場 10→BF

◆地下5Fは慰安部屋だった！

・この部屋の慰安方法は…… (1D6:6)

1→マッサージ…… (1D6:) × 2回復  
2→温泉…… (1D6:) × 5回復  
3→睡眠…… (1D6:) × 10回復  
4→マッサージ姦…… (1D6:) × 1回復  
5→温泉姦…… (1D6:) × 2回復  
6→睡眠姦…… (1D6:3) × 5回復

「あら……ここ、もしかして……当たりかしら？」

次の部屋は、まるでホテルやエステサロンの一室。  
迷宮の中のはずだが、どうなっているのか清潔で居心地の良い、なんとも場違いな空間が広がっていた。

・世話係 (1D10:7)

1→触手 2→スライム 3→オーク 4→淫魔  
5→機械 6→獣系 7→ショタ 8→チャラ男、不良  
9→中年、老人 10→ふたなり

【フブキ様ですね？ どうぞごゆっくりお寛ぎ下さいませ……】

「え、ええ……」

(敵じゃない、みたいね……)

世話役の少年は態度も温厚で、部屋の外からしか干渉してこない。  
この迷宮は稀に当たりを引くことがある……そんな噂を思い出し、フブキはベッドに腰掛ける。

(いいベッドね。……どうやら、ここだけは安全みたい……)

既に体力は回復しているが、休めるに越したことはない。  
これも自分の持つ強運のおかげ。フブキは横たわると、ベッドの心地よさに意識が吸い込まれていった……

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

【……あらら、本当に寝ちゃいましたか。こんなところで寝てたら襲われちゃいますよお～？】

外からフブキの様子を窺っていた少年がほくそ笑む。  
今、フブキは極上のベッドの上で熟睡しており、少年が部屋に入っても気付かないほど無防備を晒している。  
もともと、部屋には催眠作用を含んだリラックス用アロマが使われてるので、こうなるのは必然だったが。

【さて、ルームサービスといきますか】

「ん……んう……」

仰向けになったフブキの右脚を持ち上げ、下着を露出させるとマッサージのように優しく秘部に触れる。フブキはダンジョン攻略を一旦仕切り直したとはいえ、そこは今までの陵辱による発情が隠せておらず、一撫でもすればすぐに濡れそぼってきた。何の遠慮も不要と確認できた少年は、片脚を抱えたままの形で腰と腰を密着させた。

【もうマンコぬれぬれじゃん。いいの？ 起きないの？

合意ってことでいいのかな？ じゃ、遠慮なく……いただきま〜す♪】

ずる……

「んっ……」

ずちゅんっ♥

「あっ♥♥」

【はは、入ったのにまだ寝てるよ♪ そんなに寝心地いい？ まあ最高の夢見てることは間違いないけどね〜♪】

ぱんっ♥ ぱちゅっ♥ ずぷっ♥ じゅぶんっ♥

「んっ……んふうっ♥ あ♥ ん、んんううっ♥♥」

癒しの空間による作用で目覚めることはないが、眠りながらも牝肉は快感を貪っている。気丈な性格とは裏腹に妖艶に実り、今も触れられていながら起きることなく牝として反応する肉体。それがいじらしくなり、少年は……

#### ・オプション (1D6 : 2)

1→エロ本 2→スパンキング按摩 3→ブラシ按摩

4→電マ 5→シャワー 6→媚薬ローション

ぱちんっ♥ ぎゅむううんっ♥

「ん♥ あ♥ あは……っ♥♥」

犯すだけでなく、掌で叩いては揉みしだき尻の肉感を堪能する。

今は少年が事を終えるまで決して起きることはない。

通常なら有り得ない、強い陵辱刺激の中でも眠ったままの反応を存分に味わうのだ。

#### ◆地下8Fの部屋は…… (1D10 : 10)

1→肉便器 2→催眠 3→淫具装着&調教

4→痴漢姦 5→遊戯 6→コスチェン&強制売春奉仕

7→ダンス 8→慰安 9→エロ装備化&闘技場 10→BF

#### ◆地下8Fは強制バトルファック部屋だった！

バトルファックしないと出られない結界が張られた！

フブキは強引にBFリングに上がらされ、淫闘を強いられる！

「え？ バトルファックって何？ い……イカせ合いの勝負？

はあ？！ バカじゃないの？！ そんなこと……できるわけ……」

荒唐無稽な競技に混乱するフブキ。

しかし拒絶こそすれど、ダンジョン攻略を経て高まった性欲は少なからず淫闘を歓迎していた。

攻略のために仕方がないのだと建前を作るや、自分でも驚くほど淫闘に好戦的になる。

#### ・対戦相手 (1D10 : 9)

1→触手 2→スライム 3→オーク 4→淫魔

5→機械 6→獣系 7→ショタ 8→チャラ男、不良

9→中年、老人 10→ふたなり

【へえ……また美人が来たねえ。じゃあ、お相手してもらおうか……！】

「っ……なんてダンジョンなの♥ こんなふざけた部屋まであるなんて♥ 仕方がないわ……ヤッてやるわよっ♥」

・前戯 味方ターン (1D6 : 3)

1→パイズリ (胸) 2→尻コキ (尻) 3→素股 (クリ)

4→フェラ 5→手コキ 6→足コキ

・前戯 相手ターン (1D6 : 2)

1→乳首責め (胸) 2→スパンキング (尻) 3→素股 (クリ)

4→イラマ・下腹部責め (子宮) 5→手マン (膣) 6→アナル責め (アナル)

・本番 体位 (1D6 : 5)

1→種付けプレス 2→バック 3→フルネルソン式中出し固め

4→対面立位 5→立ち鼎 6→騎乗位

・責められる部位 (1D10 : 5)

1→胸 2→尻 3→クリ

4→子宮 5→膣 6→アナル

7→子宮 8→膣 9→アナル 10→弱点

・抵抗 (1D100 : 14)

・ダメージ値 (1D10 : 9)

「イカせるって……つまり、こうすればいいんでしょっ！」

対戦相手は中年の男だが、肉体は逞しく、いかにも淫闘慣れしていそうだ。

となれば先手は譲れない。何かされる前に念力も使って押し倒し、老人の腰に自分の腰を押し付ける。

挿入はさせられないが、より性器に近い場所であれば相手も興奮するはず。

男を果てさせるとはつまりそういうこと。その認識で股間をペニスに寄せるが……

「こ、こういうので……興奮するんでしょ？ この私にこんなことさせるのよ♥ ありがたくイッ……」

びきんっ♥ ずりゅうう♥

「いっ?!♥ お♥♥ おお〜っ♥♥」

◆地下11Fの部屋は…… (1D10 : 1)

1→肉便器 2→催眠 3→淫具装着&調教

4→痴漢姦 5→遊戯 6→コスチェン&強制売春奉仕

7→ダンス 8→慰安 9→エロ装備化&闘技場 10→BF

◆地下11Fは肉便器輪姦部屋だった！

どくんっ♥

「ま……また……っ♥♥」

入った瞬間に感じた粘っこい空気から、この空間が肉便器部屋だと悟ってしまう。

三度訪れた因縁の陵辱結界。牝本能と闘争本能の両方を昂ぶらせ、フブキは大群を前に構えた。

・待ち構えていたのは…… (1D10 : 6)

1→触手 2→スライム 3→オーク 4→淫魔

5→機械 6→獣系 7→ショタ 8→チャラ男、不良

9→中年、老人 10→ふたなり

百体の魔獣がフブキを肉便器にせんと襲いかかった！

・抵抗 (1D100 : 17)

抵抗値の数だけ竿数減少！

「来なさい、ケダモノたち……一掃してあげるわ！」

念力の風を起こし、飛びかかる獣を弾き返す。  
最初こそ、そうして撃破していったが……

「はぁ……やっぱり……こう、多いと……！」  
(それに……何よ、アレ……っ♡)

スライム、淫魔と続いての大群に疲労が現れ……  
何より、吹き飛ばした獣に凶悪な部位があるのを見つけてしまう。  
股間に見えるのは、人とは違う形状をした獣のそれ。  
雄々しく反り立ち、歪な形をした文字通りケダモノの欲望。

(また……犯される……♡♡)

どんな屈辱を味わわされるのか。  
少しでも想像すれば淫紋が妖しく光り……フブキの身体から力が急激に抜けていく。

「——っ♡♡ ダメ♡♡ 今、気を緩めたら……また……あああっ♡♡」

フブキは奮戦の末、18体目の魔獣に捕まってしまった！  
特定の体位で身体が固定される！

・体位 (1D6 : 4)

1→プレス系 2→壁尻 3→片脚上げ (Y字バランス、立ち鼎系)  
4→四つん這い 5→蟹股 6→台乗せ仰向け (ブリッジ気味)

・責め、部位 (1D6 : 5)

1→胸・尻 2→乳首・クリ 3→ぶっかけ・三穴  
4→寸止め・肌 5→両穴 6→子宮

・オプション (1D10 : 6)

1→ハメ撮り 2→精液ボテ 3→配信 (閲覧者…1D100 : 万)  
4→竿役台詞 5→MM号化 6→AV化 (売上…1D100 : 13万)  
7→即墮ち催眠 8→リョナ責 9→覗き視点 (1D10 : 奇数→男 偶数→女性)  
10→時間停止

・ダメージ値 (1D100 : 17)

四つん這いに拘束され、  
しかも獣は複根……ペニスを二つ持っており、前だけでなく後ろの孔も狙っている。  
本当に異形と、ケダモノの交尾をしてしまう——だけでなく、  
この部屋にもいつか通った肉便器部屋のようにカメラが置かれてあった。

「え……な、なんでこの部屋にもカメラがあるのよ♡♡ まさか……また配信して……っ♡♡」

実は撮影中……今度は配信ではないが、  
商品として販売するためにカメラ以外の機材も使った撮影が行われている。  
つまり、今はただのハメ撮りではなく、獣姦もののAV撮影なのだ。

「そんなの聞いてな——♡♡」

どくんっ♡ がくがくがくがくっ♡♡

「あはあっ♡♡ ダメ♡♡ もうカメラはダメなのおっ♡♡」

◆地下12Fの部屋は…… (1D10 : 2)

1→肉便器 2→催眠 3→淫具装着&調教

4→痴漢姦 5→遊戯 6→コスチューン&強制売春奉仕  
7→ダンス 8→慰安 9→エロ装備化&闘技場 10→BF

### ◆地下12Fは催眠部屋だった！

催眠術師がフブキに対して暗示をかける！

#### ・弱点暗示（1D6：2）

1→胸・乳首 2→陰唇・クリ 3→膣

4→アナル 5→肌・尻 6→子宮

フブキは無意識にクリトリスが弱点だと思い込んでしまい、感度補正+1！（クリ感度2→3）

#### ・催眠暗示（1D6：5）

1→従順オナホ化 2→ドスケベポーズ 3→逆レイプしないと出られない

4→攻撃的オナホ化 5→認識操作 6→オンオフ奴隷

「ああ……何だ、この手の類、ね……♥ 警戒して損したわ♥」

相手が催眠術師と分かり、フブキは一気に緊張が解ける。  
彼女にとって、こういった超能力の類は専門分野であり、勝利を確信したからだ。  
姉にこそ劣るものの、フブキも一流の超能力者。  
精神力、催眠など超能力への抵抗力は強い自信があり、  
術師が放つ桃色の魔力が浴びせられても、平然と構えている。

「さて……もういいわよね♥ 何か言い残すことがあれば言ってみなさい♥  
……は？ くり……そ、そんなとこ弱くないわよ！♥」

倒す前に遺言を聞いてやろうとするが、術師はフブキが催眠にかかったと思い込んでいるのか、  
クリトリス……陰核を敏感にしたのだとのたまった。  
それを聞き、プライドを刺激されたフブキは……

「そこまで言うなら……仕方ないわねっ♥」

がくっ♥ へこへこへこおっ♥♥

「陰核なんか弱点じゃないことを証明するために……」

超能力ファックを見せてあげるわっ♥♥」

何故か“超能力ファック”をすれば催眠耐性と弱点を否定できると思い込み、  
術師にのしかかって素股腰をへこつかせた！

へこっへこっへこっへこっ♥♥

「あなたの言う通りなら♥♥ 簡単に陰核でイクはずよねっ♥♥

ほらっ見てなさいっ♥♥ そう簡単になっ♥♥ 私がイクわけっ♥♥ あっ♥♥♥」

こしこしこしこしっ♥ ずりゅんっ♥ プッシャアッ♥♥

「クリアクメえええっ♥♥♥ ほらあっ♥♥♥ 弱点なんかじゃないでしょおっ♥♥♥

10秒近く持ったわよ♥♥♥ こんなんで弱点って言えるって言うのっ♥♥♥

んおおっ♥♥♥ またっあああああっ♥♥♥」

### ◆バトンタッチ！ フブキ→タツマキ

タツマキはフブキの後に続き、ダンジョンを攻略する……

◆

現在、地下12F

「……何？ ここ。フブキはどこよ？

あーもういいわ。この気色悪いの全部壊してフブキを連れて帰るから！」

ヒーロー協会S級2位、“戦慄のタツマキ”(28)。  
フブキと同じ超能力者だが、それもそのはず、彼女はフブキの実姉である。  
傍目には言葉遣いと小柄な身体で年不相応に見えるが、実力は妹のフブキを遥かに凌ぐ。  
そしてまた、フブキに対して極端な過保護の姿勢でもある。  
今回はフブキがこのダンジョン内で行方不明となり、  
タツマキの怒りは静かに、しかし大きく膨らんでいた。

#### □ステータス判定

◆弱点決定(1D6:6)

1→胸・乳首 2→陰唇・クリ 3→膣

4→アナル 5→肌・尻 6→子宮

◆感度決定(1D10:5)

◆羞恥決定(1D100:34)……34(補正小:少し恥ずい程度)

◆性欲決定(1D100:26)……26(補正小:稀にアへる程度)

「ステータス? どうでもいいわよ そんなの。」

「とっととフブキを出しなさいよ!」

現在、地下12F

◆残ライフ:1000 ◆抵抗力:100 ◆合計絶頂数:0

◆弱点:子宮 ◆感度:5(初期値:5) ◆羞恥:34(補正小:少し恥ずい程度) ◆性欲:26(補正小:稀にアへる程度)

◆装備:初期 ◆状態異常:ナシ

ダンジョンの細かい仕様など彼女には関係ない。

フブキの気配が途絶えた12Fの壁を壊し、

タツマキは13Fへと降り立った……

◆地下13Fの部屋は……(1D10:2)

1→肉便器 2→催眠 3→淫具装着&調教

4→痴漢姦 5→遊戯 6→コスチェン&強制売春奉仕

7→ダンス 8→慰安 9→エロ装備化&闘技場 10→BF

◆地下13Fは催眠部屋だった!

催眠術師が振り子を使い、入室者に催眠をかける!

・弱点暗示(1D6:2)

1→胸・乳首 2→陰唇・クリ 3→膣

4→アナル 5→肌・尻 6→子宮

感度補正+1!(クリ感度1→2)

「……は? 何してるの? まさか催眠のつもり? 効くワケないでしょ! アンタ頭おかしいの?!」

超能力の類において、タツマキは自分以上の存在を知らない。存在するとも思っていない。

まさか振り子で自分の認識や何かが変わるなどとても考えられず、いつものように超能力より先に悪態をつく。

「あいにく私に弱点なんてないのよ! バカなことしないでフブキを……何、まだやるの?」

・催眠暗示(1D6:2)

1→従順オナホ化 2→ドスケベポーズ 3→逆レイプしないと出られない

4→攻撃的オナホ化 5→認識操作 6→オンオフ奴隷

「あのねえ……！」

否定してもなお術師は催眠を続けている。  
術師を倒すのは簡単だが、できればフブキの居場所を聞き出したいし、  
何より催眠にかかっていると思われるのが腹立たしい。  
タツマキは相手を否定するため……

「私はクリトリスが弱点ですって？ ふざけないで！ そこまで言うなら証明してあげるわ！」

何故か蟹股になり、自分で股に手を添えた！

「ほら見なさいよっ！♥」

がばっ♥ すり♥ くりっ♥

「本当にクリトリスが弱点なら、アンタの前でクリオナするわけないでしょ！♥

蟹股ドスケベポーズとってる時点で催眠なんか無効化されてるって判断できないわけ？♥」

やっていることは完全に「敵前でのクリトリスオナー」で、  
だからこそ陰核は弱くない……などと言い張っている。  
あまりに非常識な行為に出ながら挑発するタツマキを術師が笑う。  
また不機嫌になったタツマキに、催眠を重ねながら近寄った。

◆地下15Fの部屋は……（1D10：5）

1→肉便器 2→催眠 3→淫具装着&調教  
4→痴漢姦 5→遊戯 6→コスチェン&強制売春奉仕  
7→ダンス 8→慰安 9→エロ装備化&闘技場 10→BF

◆地下15Fは淫乱遊戯部屋だった！

・プレイするゲームは……（1D10：5）

1→シャワー快感我慢ゲーム 2→BFゲーム 3→弱点当てゲーム  
4→絶頂我慢ゲーム 5→売春で売上競争ゲーム 6→即落ちゲーム  
7→種漬け早孕みゲーム 8→媚薬発情耐久ゲーム 9→エロ本淫語ゲーム 10→淫乱舞踊誘惑ゲーム

「……はぁ?! 売春の売上で基準以上じゃないと出られない?!」

辿り着いたのはビーチのような開放的な空間。  
ここでは結界により、あらゆるゲームを一定以上こなさないと先には進めない！  
陽気な利用者たちによる結界で強制され、  
タツマキは売春売上競争ゲームを開始させられる！

・責め、部位（1D6：5）

1→子宮 2→アナル 3→膣  
4→肌・尻 5→クリ 6→胸

・抵抗（1D100：17）

・ダメージ値（1D100：49）

【そういうわけだから。はいゲームスタート——！！】

「ふざけるのもいい加減に……ちょっと、勝手に進めないでっ！」

【え、なに？ 売春ゲーム？】

へこへこへこへこおっ♥

「あっ♥ 違うの、これは♥ こいつらが勝手に……」

【いやめっちゃ腰振ってんじゃん】

【おっばい小さいけど美人だし……いいよ、買う買うー♪】

へこっへこっへこっへこっ

「やめなさい♥♥ 来ないで♥♥ 私は売り物じゃないわよ♥♥

何お札用意してんのよっ♥♥ それ以上近寄ったら♥♥ 痛い目に遭うわよっ♥♥」

へこへこへこへこ♥ ずばあんっ♥ くりくりくりくりいいっ♥♥

「お♥♥♥ ほおおおおおっ♥♥♥ 何でちんぽ挿れるのよおっ♥♥♥

しかもっどこ触ってっ♥♥♥ そこっクリトリスうううっ♥♥♥

弱くないのにイクッ♥♥♥ ドスケベダンスクリアクメしちゃううううっ♥♥♥」

◆地下18Fの部屋は…… (1D10:1)

- 1→肉便器 2→催眠 3→淫具装着&調教
- 4→痴漢姦 5→遊戯 6→コスチェン&強制売春奉仕
- 7→ダンス 8→慰安 9→エロ装備化&闘技場 10→BF

◆地下18Fは肉便器輪姦部屋だった！

・待ち構えているのは…… (1D10:7)

- 1→触手 2→スライム 3→オーク 4→淫魔
- 5→機械 6→獣系 7→ショタ 8→チャラ男、不良
- 9→中年、老人 10→ふた

少しずつ過去の挑戦者が手を付けた形跡もなくなってきた。  
だんだん最下層に近付いている……フブキ奪還が近付いているのを感じるが、  
やはりすんなり上手くはいかない。  
地下18Fの大部屋にて、待ち構えていた百人もの少年たちに襲われる！

・抵抗 (1D100:83)

抵抗値の数だけ竿数減少！

「……そう。どうしてもフブキを返さないのね！ ガキだからって容赦しないわ！ 潰れなさいっ！！」

室内の空気が揺らいだ——緩やかに見えた力の作用は、  
気付けば振じれた渦が無数に集った竜巻を生み出していた。  
ヒーロー名にある通り“戦慄”としか言い様のない、感じただけで震え上がる念力の群れに、  
少年たちは意識と肉体を散り散りにされていた。  
まともに戦えば完封試合。今度こそタツマキの勝利かに思えたが……

「っ！ こ、こんな、時に……っ！」

多大な念力の反動で激しい頭痛に襲われる。  
最奥も見えたこんな時に……粘ろうとしても超能力が発動できない。  
その瞬間を待っていたかのように、残る少年たちが一斉にタツマキを取り押さえる。

タツマキは奮戦の末、84体目のショタに捕まってしまった！  
特定の体位で身体が固定される！

・体位 (1D6:5)

- 1→プレス系 2→壁尻 3→片脚上げ (Y字バランス、立ち鼎系)
- 4→四つん這い 5→蟹股 6→台乗せ仰向け (ブリッジ気味)

・責め、部位 (1D6:1)

- 1→胸・尻 2→乳首・クリ 3→ぶっかけ・三穴
- 4→寸止め・肌 5→両穴 6→子宮

・オプション (1D10:10)

- 1→ハメ撮り 2→精液ボテ 3→配信 (閲覧者…1D100:万)
- 4→竿役台詞 5→MM号化 6→AV化 (売上…1D100:万)

7→即堕ち催眠 8→リヨナ責 9→覗き視点(1D10: 奇数→男 偶数→女性)

10→時間停止

タツマキは蟹股状態に拘束された！

「解きなさいよ！ こんな格好にさせて、また辱めるつもり？！ ホント情けないわねガキども！」

頭がクラクラしても悪態はやめない。回復した瞬間に反撃するため、一時も気を許していないからだ。小柄な自分よりも小さな少年たちに向け、あれこれ言い続けていたが……

「これ以上何かしたら許さないわよ！ いいからこれほどいて！ 聞こえ——」

カチッ！

「……………」

少年の一人が何やらタイムスッパ―のようなものを使った瞬間、タツマキの身体がピタリと固まった。

【お、効いた効いた】

【どんだけ強くてもやっぱダンジョン内だと防御力下がるんだねー】

もみ♥ むにゅ♥

「……………」

【おー、ホントに反応しない！】

【じゃ早速ハメとくか……よくも大暴れしてくれたなあ、このババァマンコめ！】

◆地下19Fの部屋は……(1D10: 1)

1→肉便器 2→催眠 3→淫具装着&調教

4→痴漢姦 5→遊戯 6→コスチェン&強制売春奉仕

7→ダンス 8→慰安 9→エロ装備化&闘技場 10→BF

◆地下19Fは肉便器輪姦部屋だった！

「また……♥♥」

・待ち構えているのは……(1D10: 10)

1→触手 2→スライム 3→オーク 4→淫魔

5→機械 6→獣系 7→シヨタ 8→チャラ男、不良

9→中年、老人 10→ふたなり

【あら、ここまで来たっていうからどんな怖い娘かと思ったら】

【可愛いお嬢さんね♪ たっぷり遊んであげるわぁ……♪】

「な……何よ、この生き物……不愉快すぎるわ……！」

現れたのは何と股間に一物を有する女性……いわゆる、ふたなりの魔人だった。しかも偶然なのか意図して変化でもしたのか、見た目がどこかフブキに似ている。それがまた不快感を煽り、タツマキの眉がヒクヒクと動く中、百体ものふたなり魔人が襲いかかった！

・抵抗(1D100: 22)

抵抗値の数だけ竿数減少！

「フブキの真似なんて……！ アンタたちだけは逃がさないわっ！」

ふたなりたちがフブキに似ているのは、フブキを襲って姿を真似たからだと思ったタツマキ。

怒りが念力を生み、第一陣こそ凌ぐが、すぐにスタミナが尽き、  
疲弊がそのまま肉欲として跳ね返り、身体が熱くなる。

【あは♪ もう限界なのお？】

「ど、どうしてっ♥♥ こんな奴らに♥♥ こんな奴らにだけは……ああっ♥♥ は、離しなさいいい♥♥」